

日本語文章表現

第15講 「論文の書き方（4）総まとめとフィードバック」

入江 さやか(岐阜女子大学)



第15講 「論文の書き方（4）総まとめとフィードバック」

【目的】

レポートや論文の構造や内容を総合的に評価し、他者からのフィードバックを受け入れて自らの論証をより高いレベルに再構築する方法を学ぶ。

【学修到達目標】

- レポートや論文の構造や内容を総合的に評価し、その強みや弱みを明確に認識できるようになる。
- 他者の意見やフィードバックを受け入れ、自らの論証をより高いレベルに再構築できるようになる。



第15講 「論文の書き方（4）総まとめとフィードバック」

■ 必ず校正する

- 番号の確認（章立て、表や図）
- 誤字、脱字の確認（声を出して読み上げる）
- 用語、表記の統一（検索機能を使用）
- 参考文献の照合（引用していない参考文献は書かなくてよい）



第15講 「論文の書き方（4）総まとめとフィードバック」

■ 論の破綻を防ぐ

- ・ 主張を支える事実に問題がないか確認

→ 信頼できる資料を使用したか

- ・ 論理関係に問題がないか、再度確認。第三者に読んでもらうのもよい



第15講 「論文の書き方（4）総まとめとフィードバック」

■ 動機や感想は書かないのが基本

- ・ 冒頭に動機を書かない
 - 一般の論文やレポートにおいて、個人の経験などの動機は基本的に不要
- ・ 結末に感想を書かない
 - 一般の論文やレポートにおいて、個人の感想や意見は不要



課題

1. 自分が書いたレポートを生成AIに論文にふさわしい日本語に修正させ、修正後の表現がどのようなになっているか、検討し、修正された表現のほうがよいと判断したら、その通りに修正する。
2. 他の受講生のレポートを詳細に分析し、その論点や論拠、構成について評価や提案をまとめる。自らもフィードバックを受けて、改善したレポートを作成する。



日本語文章表現

第15講 「論文の書き方（4）総まとめとフィードバック」

入江 さやか(岐阜女子大学)